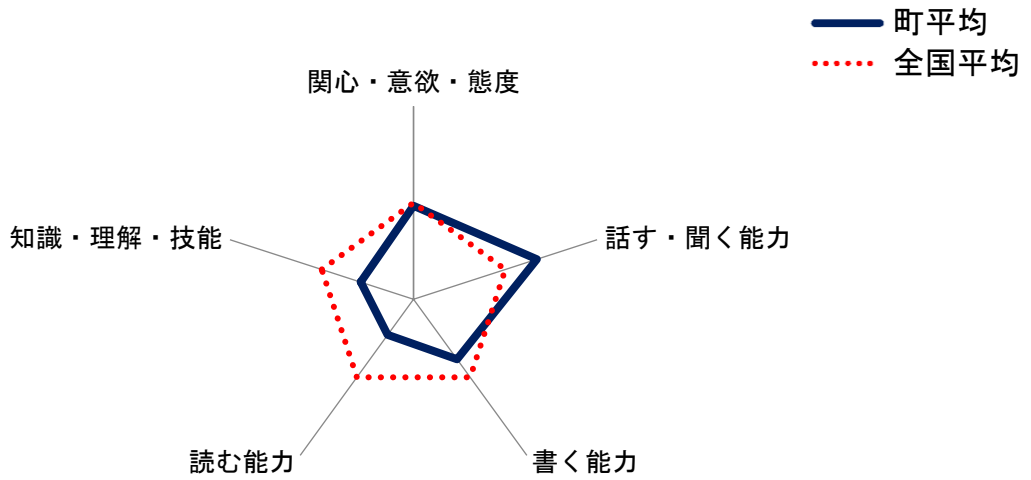
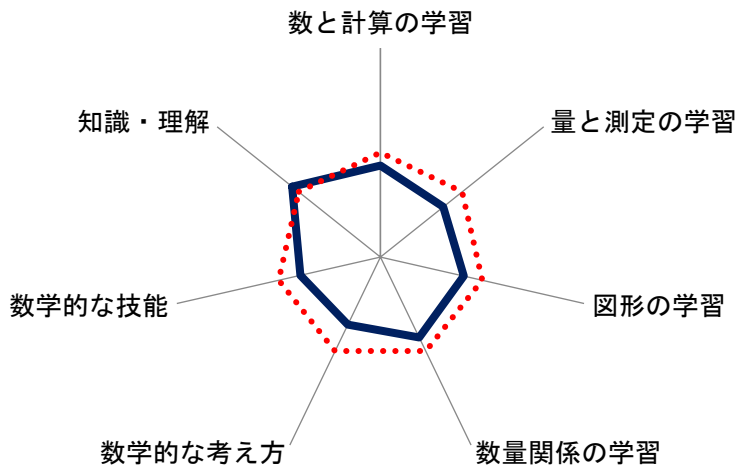


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

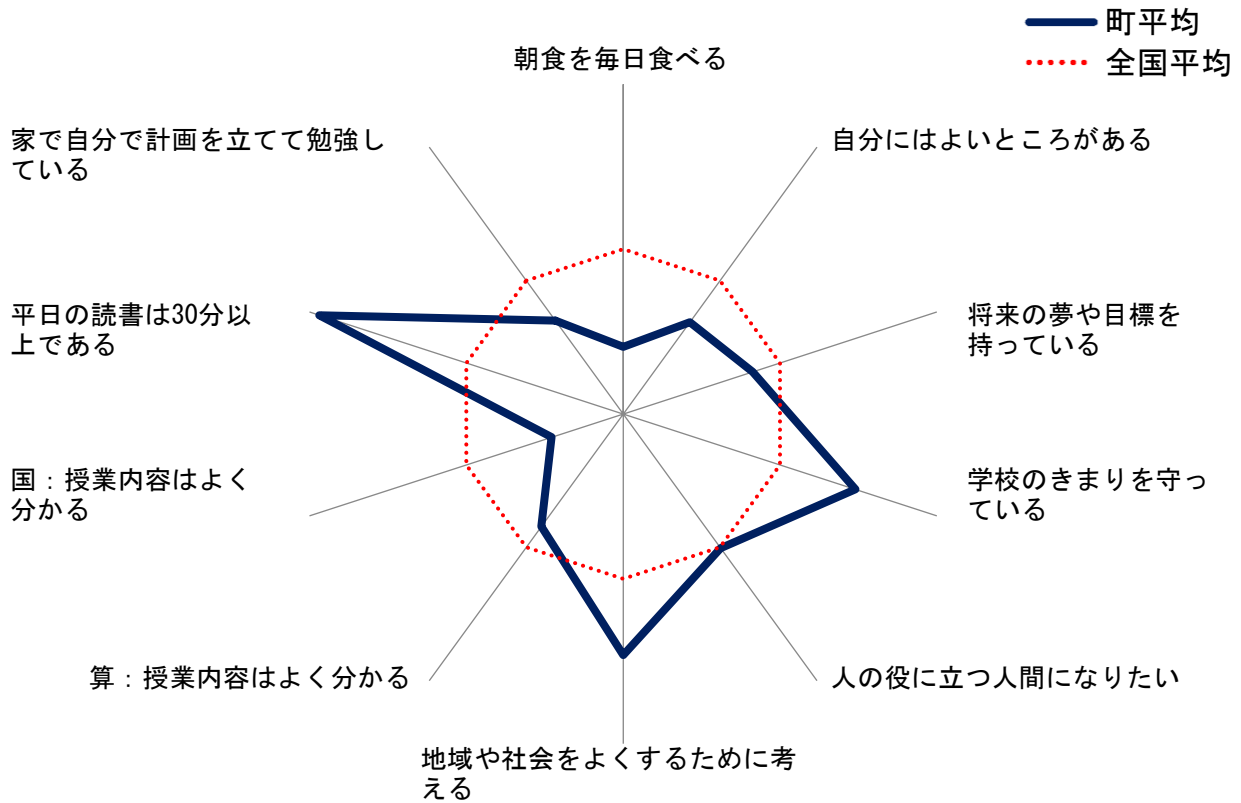
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は「話す・聞く能力」の項目は全国平均を大きく上回っているものの、その他の項目は全国平均を大きく下回っており、基礎基本の定着が課題となっている。今後は、毎時間の児童の達成状況を確実に把握した上で、次時の学習課題を明確にするなど、PDCAサイクルを一層機能させた学習指導を展開することが望まれる。

児童質問紙調査では、「平日の読書は30分以上である」、「学校のきまりを守っている」の各項目が全国平均を大きく上回っており、本に親しむ態度や規範意識の育成が図られている。「朝食を毎日食べる」の項目は、中学校と同様に全国平均を下回っており、小・中学校及び家庭や地域とが一体となって児童生徒の生活習慣を確立していくことが望まれる。